

県大で考える 〈いのち〉、〈生きる〉、そして〈人としての尊厳〉ということ
— 私たちが向き合うべき人類社会の課題 —

A 特別授業第1回

〈生命〉の身体表現

— 世界で唯一無二の芸術創造の劇団態変 35 年間のエッセンス
講師：金満里氏（劇団態変主宰・芸術監督 舞踊家・演出家）

満里さんは相模原障がい者虐殺事件（2016年7月）に接して、「自分が殺されたかもしれない。自分もあそこにいるんだという感覚を覚えた。自分の延長線上にあの事件がある。社会が障がい者を施設に追いやっている現実を直視しなくてはならない。これは障がい者だけの問題ではない」とおっしゃっています。満里さんの人間観のベースとなった10年間の施設体験、そこを出て表現して、「魂の自由を取り戻す」ことの意味を話していただきます。

日時：2018年11月30日（金）

14:30～16:00

会場：愛知県立大学 長久手キャンパス

K棟2階 小ホール

定員：先着50名 入場無料・申込必要



プロフィール

日本で活躍した韓国古典芸能家・金紅珠の末の娘として生まれる。3歳でポリオに罹患、全身麻痺の重度身障者となる。1983年劇団態変を旗揚げ、「身体障害者の障碍そのものを表現力に転じ、未踏の美を創り出す」を提唱し、身体表現芸術を世界に先駆けて創出してきた第一人者。

劇団態変では一貫して芸術監督を務め、劇団と自身のソロを合わせ70作品の作・演出を手がける（2017年8月時点）。ほとんどの作品に出演もしている。平成23年度、24年度、26年度、27年度文化庁芸術祭参加。

海外からの招聘公演も多く、アフリカ・ケニアを皮切りにスイス・ドイツ、韓国・台湾・マレーシア・シンガポール・インドネシアとアジアでも招聘されている。

1998年初めてのソロ作品『ウリ・オモニ』を大野一雄・大野慶人監修で上演。以降、大野慶人監修でソロ作品3作品、計4作のソロ作品を世に出す。

身体が存在性から表現を引き出すワークショップも開催し、主宰する「金満里身体芸術研究所」では障碍・健常を問わず広く身体表現指導を行なう。

募集期間 | A: 11月28日（水）まで

申込方法 | 裏面をご覧ください、①E-mail、②往復はがき、③本学 Web 申込みシステムのいずれかの方法でお申込みください。

お問合せ 愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話 0561-76-8843

メール kenkyu@bur.aichi-pu.ac.jp

愛知県立大学 グローバル学術交流

県大で考える〈いのち〉、〈生きる〉、 そして〈人としての尊厳〉ということ — 私たちが向き合うべき人類社会の課題 —

特別授業及び学術講演会

A：11月30日（金） 講師 金満里氏

B：12月12日（水） 講師 小出裕章氏

C：1月23日（水） 講師 M.T.シルヴィア氏

■申込方法

A：11月28日（水）まで、B：12月7日（金）まで、C：1月18日（金）までに、以下の①～③のいずれかの方法により、お申込みください。

①E-mail

希望の企画（A、B、C）、氏名（ふりがな）、電話番号を明記のうえ、以下の申込先までお申込みください。

②往復はがき

希望の企画（A、B、C）、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を明記のうえ、以下の申込先までお申込みください。

③本学 Web 申込みシステム（<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/>）

本学地域連携センター Web サイトにアクセスし、グローバル学術交流事業特設ページより申込みメールフォームに必要な情報を入力してください。

■お問合せ・申込先

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3

愛知県立大学 研究支援・地域連携課

電話 0561-76-8843（電話での申込みはできません）

メール kenkyu@bur.aichi-pu.ac.jp



交通アクセス

- 地下鉄「藤が丘」駅から八草行きリニモ（東部丘陵線）約13分
「愛・地球博記念公園」駅下車 北へ徒歩5分
- 愛知環状鉄道「八草」駅から藤が丘行きリニモ（東部丘陵線）約3分
「愛・地球博記念公園」駅下車 北へ徒歩5分

駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

